

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会		主 査 名： 山田哲弥 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会・計画基礎運営委員会		委員長名： 布野修司 主 査 名： 大野隆造
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・整理・体系化することにより、それらの成果を広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する活動を継続的に行う。 1) 「関係性のデザイン」に関する事例収集・調査研究活動 2) 「関係性のデザイン」に関する公開研究会の開催 3) これまでの成果の普及展開：「コラボレーションによるデザイン」の発刊 4) デザイン研究関連他学会との連携 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	山田哲弥(清水建設) 本江正茂(東北大) 日色真帆(愛知淑徳大) 大西康伸(熊本大) 奥田宗幸(東理大) 近藤伸亮(産総研) 武田有左(山下設計) 仲隆介(京都工繊大) 増村昭二(日本設計) 門内輝行(京都大) 柳沢和彦(千工大) 和田浩一(職能大) 渡邊朗子(慶応大)		
設置 WG (WG 名：目的)	設計プロセス研究WG：文献・記事・論文等の収集およびレビューを行い、各研究活動の体系的な見地に立った位置づけを検討 設計支援システムWG：「デザイン環境」としての設計支援システムの研究		
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 愛知淑徳中学高校の「関係性のデザイン」をめぐって 参加者数 44 名 (資料名)同上 2. デザインシンポジウム 2008 参加者数 191 名 (資料名)デザインシンポジウム 2008 講演論文集
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1) 継続的な事例収集。関係性のデザイン・マップの対外発表(デザインシンポジウム 2008) 2) 日産先進技術開発センター(6/4)、愛知淑徳中高(10/24)における拡大研究会の実施。 3) 未達成 4) デザインシンポジウム 2008 共催(デザイン、設計工学、機械、精密、人工知能の各学会)
委員会活動の問題点・課題	1. 遠方委員の旅費の確保 2. 分析対象事例の選定・確保

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。